



## 【先週 6月14日～6月20日の外食の出来事】

### ■フレンドリーが希望退職者募集で110名を削減へ、店舗閉鎖で

東証2部上場の「フレンドリー」は、希望退職者の募集による110名の人員削減。退職日は6月30日の予定。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で厳しい環境に陥っており、全店舗の約6割の41店舗の閉店を決定する

### ■三光マーケティングフーズが40店舗超を閉店、20年6月期中に

東証2部上場で「金の蔵」「東方見聞録」などを展開する「三光マーケティングフーズ」は、6月期において40店舗超を閉店。対象は不採算が想定される店舗のみならず、収支改善に時間を要する店舗や賃料が割高な店舗。

### ■物語コーポ、加治社長退任 後任は34歳 アジア市場を開拓する

物語コーポレーションの加治社長が退任し、専務の芝宮 良之氏が就任する。さらに、9月24日付けで芝宮氏は代表取締役会長に就任し、副社長執行役員の加藤 央之氏が社長に就任。加藤氏は1986年生まれの34歳。

### ■大戸屋、FCロイヤルティ50%減額を延長

大戸屋が、FC加盟店向けのロイヤルティ50%減額の期間を4～6月の3ヶ月から、4～9月までの6ヶ月に延長する。さらに、要望に応じ4月以降9月分までの最大6ヶ月分のロイヤルティ等の支払いを10月まで猶予する。

### ■すかいらーく、融資枠1000億円に増額、手元資金手厚く

3月末に結んだ融資枠を400億円から1000億円に増やす。新型コロナウイルスのまん延による影響で客足が減少。収益が落ち込んで資金の流出が続いている。新型コロナの影響が続くなかで、手元資金の確保を急ぐ。

### ■丸千代山岡家、第1四半期(2020年2月～4月)の業績 減収赤字

2021年1月期 第1四半期(2020年2月～4月)の業績を発表。売上高32億600万円(対前年同期比1.2%減)、営業損失1億400万円(-)、経常損失1億100万円(-)、当期純損失8700万円(-)であった。

### ■バルニバービ、第3四半期(2019年8月～2020年4月)の連結業績 減収赤字

2020年7月期 第3四半期の連結業績を発表。売上高77億4400万円(対前年同期比6.8%減)、営業損失3億9700万円(-)、経常損失3億7200万円(-)、四半期純損失2億9800万円(-)であった。

### ■幸楽苑HD、'20年3月期('19年4月～'20年3月)の連結業績 減収減益

2020年3月期 通期の連結業績は売上高382億3700万円(対前年同期比7.3%減)、営業利益6億6000万円(同59.6%減)、経常利益8億2300万円(同48.1%減)、当期純損失6億7700万円(-)であった。

### ■コロナ禍に負けず やっぱりステーキが東京進出 5年で県内外50店舗超に拡大

格安ステーキ店「やっぱりステーキ」の関東・東京地域初出店となる吉祥寺店が17日、武蔵野市にオープンした。2015年に那覇市松山で1号店を開店して以来、全国51店舗目まで拡大し、いよいよ激戦区の首都圏に進出。